

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113
〒496-0036
代表TEL：(0567)26-3921
FAX：(0567)26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

家政婦の有効な活用について / つしま紹介所

家政婦には、介護保険制度下(介護保険のヘルパー)では利用できない以下のようなサービスの提供が可能です。

「直接本人の援助」に該当しなくても、家政婦であれば提供可能なもの

- ・家族全員に係る洗濯・調理・買い物・布団干し
- ・すべての居室等の掃除
- ・来客時の応接(お茶や食事の手配等)
- ・車の掃除等

日常生活の援助の範囲を超え、趣味嗜好に関わるもの

- ・散歩、カラオケ、観劇、冠婚葬祭、地域行事等
- ・日常的な家事の範囲を超えるもの

- ・草むしり・花木の水やり
- ・家具や電気器具等の移動、模様替え
- ・大掃除、窓拭き、床の雑巾がけやワックスがけ
- ・犬の散歩等ペットの世話等

上記内容は介護保険制度上ではヘルパーに頼めない事柄ですが、家政婦なら個人雇用関係にあることから、雇用するときの労働条件に見合った内容の範囲で頼みたいことをお願いすることができます。 <Y・I>



「相談しようと思っと思った…」 / ナイス・ホーム

朝、Hさんの通いの送迎を担当したスタッフからご主人のことを心配する声を聞いた。実は、数日前より訪問したスタッフから「最近、Hさんのご主人の体調が良くないみたい。足も痛そう」と報告を受けていた。“Hさんは最近泊まりを利用されていないし、ご主人の介護疲れが溜まってきているんだろうな”と思いながら、通いの終了後、Hさんを自宅へ送り届けた。その時のご主人の辛そうな顔を見て「明日から泊まりを使おうよ」と声を掛けた。

ご主人からは「相談しようと思っと思った」と一言。その言葉を聞き、もっと早くに声を掛ければよかったと考え、送り届ける前に連絡を入れて、ご主人の体調確認とHさんのサービス利用の提案をするべきだった…と反省した。

利用者さんに関しては勿論のこと、介護に携わるご家族の様子や環境の変化等も含めて、広い視野をもって関わりたい。気になることは次の行動に移してこそ意味がある。瞬時に全体を判断できる力を持ちたい。今回、その大切さを学びました。 <Y・O>



4月の利用状況

ナイス・デイ(定員10名)						
日	月	火	水	木	金	土
4	6	7	9	8	7	6

(数字は定期のご利用者数)
ナイス・ホーム(定員17名) 登録者14名
ナイス・ケア(定員なし) 新規サービス大歓迎
愛宕の家(定員10名) 入居者8名
お気軽にお問い合わせ下さい

日頃の成果? / ナイス・デイ

3月11日 14時46分。
デイサービス中の出来事であった。ゆっくりと横ゆれが始まり、数秒後にソファに座っていた利用者のMさんが“地震じゃない?”とはじめに気付いた。我々スタッフも、とっさに座っている利用者さんに座布団を頭の上から乗せていると、はじめに気付いたMさんはいつの間にかソファから机の下にもぐっていた。いつもは2~3分前のこともすぐに忘れてしまうMさんが日頃の訓練の成果か...?自然に行動を起こしていた。その姿を見て何故かホッとした。東日本の多数の方々には深くお見舞いを申し上げますと共に、今後も防災訓練には真剣に取り組んでいきたい。 <M・O>



大きな掌 / 愛宕の家

先月、愛宕の入居者であるGさんが亡くなりました。ご自分の病気を知らずおられ、入居の折より延命治療は行わないとのことでした。利用者の皆さんと大勢での食事を楽しみにされているようでしたが、次第に食欲がなくなり、ベッドで過ごされる時間が長くなりました。ご家族の来訪時には、その声を聞いて安心して寝てみえるようでした。

週2回の往診。進んでいく病状が予測され、医師、看護師の指示のもと、ご家族と協力しながら見守らせて頂きました。亡くなる1週間程前からは、ご家族が泊まりに来られていました。吐血を繰り返され、夜中、「皆、こんなふうになっていくのかな」と不安げにつぶやくGさんに、息子さんと宿直のスタッフは「大丈夫だよ」と手を握り、背中をさすり続けました。刻々と状態が変化していくなか、本当に心穏やかに過ごすことができたのか聞くことはできませんが、最期までGさんらしくあることのお手伝いできたと思いたい。その人柄を象徴しているような大きくて分厚い掌が大好きでした。心からご冥福をお祈りします。 <K・N>



報告書 / ナイス・ケア

以前、ナイス・ケアとナイス・デイを利用していたSさん。施設入所されていたが、数年前から在宅生活に戻り、現在、ナイス・ホームを利用されている。ベッド上での生活だが、Sさんの表情や時々発する言葉は周りを和ませてくれる。先日、Sさんのお宅を訪問した際、ご家族が分厚く綴じた報告書を出してきてくれた。目に入ったのは、平成15年頃の日付。報告書の中のSさんは自分の足で歩き、抹茶をたて、編み物をしていた。物忘れが増え、それを不安に思っている様子も記されていた。読み返すと当時のやり取りの一つひとつが思い出され、かけがえのないものを感じた。報告書を大切に保管していたというご家族の話にグッと胸が詰まった。報告書は介護サービスを行ったという証明であり、記録、ご家族との連絡帳でもある。しかし、サービスの終了時間に追われるように、慌てて書いたり、必要なことを書き忘れてしまうことも多い。数行の中に、大切なことを分かりやすく、的確に丁寧に書いていきたい。 <A・M>



看護師コーナー / 食べること(摂食)・飲み込むこと(嚥下)とその障害 ~ 摂食・嚥下とは? ~ 食道期とは

さあ、このシリーズ最後の 食道期! この食道期を過ぎれば、無事、胃袋到達するので読んでください。

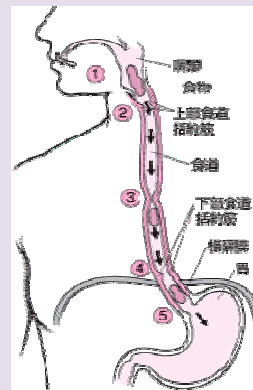
食道期(食魂を食道の蠕動運動によって胃に送り込むまで)は、食魂が食道に送り込まれると、逆流しないように食道括約筋がぴったりと閉鎖。その後食魂は蠕動運動によって胃へと運ばれる。逆立ちして食べても食物が口に戻ってくることはないのは、この働きがあるから。

食道括約筋には上下に2つある。1つは上食道括約筋(輪状咽頭筋)、もう一つは下食道括約筋で、食道と胃の間にある。上食道括約筋の閉鎖が不完全だと、胃酸、消化液、細菌を含んだ食物が咽頭に逆流して、誤嚥すると肺炎の原因となる。これが、誤嚥性肺炎。もう一つの下食道括約筋の閉鎖が不完全だと胃 食道逆流が起こり、逆流性食道炎の原因となる。

訪問スタッフがサービスに入った時が経管栄養の後であれば、体を右向きして、上体を起こしておくをお願いしている。経管栄養をしていると食道括約筋が低下し、逆流しやすいため上体を起こしておく。そして、胃袋の形から右向き(右側臥位)にすると、かなり逆流が予防できる。

7ヶ月半になる息子に歯が生え始めた。噛む為の大切な歯(準備期)。保育園にも通い始め、息子にも私にも新たな環境が始まった。息子よりも私の方が耐えられない予感。今頃、泣いていないだろうか、ご飯は食べているだろうか...なんて心配し始めたらきりが無い。きりが無いけど、心配したいのが親心。私のお母ちゃんも果たしてこうやって心配してくれていたのだろうか?(笑)...迎えに行くのとびきりの笑顔でしがみついてくれる。色々な立場、場面の気持ちを知れることに感謝。息子よ、母ちゃんも頑張ってみるから、一緒に頑張ろうね。

さてと、食べたものが胃袋に到着し、満腹感が得られただろうか。分かりにくい点が多々あったと思うが、最終的に満腹になればいいなあ~。次回からは、摂食・嚥下障害について! <M・T>



子どものイタズラ もうコケッコー!! / ナイス・キッズ

先日、あるスタッフが『キャ〜ッにわとり小屋がえらいこっちゃ〜』と飛んできた。すぐに見に行くと、座布団、枕に靴にボール、ポリバケツ等が散乱...。目が点になる程の大惨事

その日、キッズに居たのは3才と5才のちびっこギャング!! すぐに2人の首根っこをつかまえ、にわとり小屋へ...。『片づけろ〜!!』の合図で片づけ開始!! はじめはにわとりを怖がっていた2人も片づけ始めるとそれまた楽しい。

何でも遊びになってしまう子どもってすばらしいしかし...にわとり達はたまったもんじゃない!!

「こんな事はもうコケッコー(けっこう)」とでも言いたげに、チビッコギャングを見ながら小屋の隅っこで小さく固まっておりましたとさ(笑) <R・W>



あとがき

4月1日よりナイス・デイとナイス・ホームの使用場所が入れ替わりました。関係各位には「緊急お知らせ」としてご連絡した通り、引越当初は多少の混乱もあるかと考えていましたが、私達の予想に反し、利用者の皆さんは環境の変化に順応し、受け入れている様子です。あたふたしているのは私達スタッフの方も...。気持ちも新たに今年度もスタートです。 <A・M>